

長中だより

平成27年12月2日
第48号
伊豆の国市立長岡中学校

文責 松下八十二

長中生、頑張りました

11月28日(土)と29日(日)の2日間、長中生が地域の行事に参加し大活躍をしました。地域の方に、頑張る長中生の姿を見ていただくことができました。

子ども・若者育成支援大会

28日(土)に、韮山の時代劇場で伊豆の国市子ども・若者育成支援大会が行われました。長岡中からは3年生の杉山芽衣さんが主張発表をしました。原稿の作成・校正を繰り返し、そして何度も練習を重ねこの日を迎え、素晴らしい発表ができました。(杉山芽衣さんの発表原稿は裏面に載せてあります。)また、アトラクションとして、1・2年生の代表による長中ソーランも披露されました。選抜された生徒たちは昼休みや放課後の時間を使い練習をしてきました。主張発表や長中ソーランを見ていた長岡南小学校の校長先生が、「3年生の発表や長中ソーランは素晴らしかった。長中生、頑張っているね。」と長中生の頑張りを誉めてくれるほど、素晴らしい発表や踊りでした。また、2年生の田口さんが、12月5日(土)に行われる市町対抗駅伝の選手として壮行会で紹介されました。



【長中ソーランを踊る生徒】



【市町対抗駅伝壮行会】

伊豆の国農業祭

29日(日)に韮山のグリーンプラザで行われた、伊豆の国市農業祭のオープニングに吹奏楽部が出演しました。3年生が引退した後、1・2年生だけによる初めての演奏会でした。しっかりと日頃の練習成果を発揮し素晴らしい演奏で、15分間という短い時間でしたが会場を大いに盛り上げることができました。吹奏楽部の次なる目標は、12月26日に行われるアンサンブルコンテストです。コンテストに出場できるのは2グループだけです。出場に向けて部内でしのぎを削り、演奏技術の向上に努めています。次回聞く演奏は今回以上の素晴らしい演奏が聞けると思いますので期待してください。



＜多くの方が応援してくれました＞



子ども・若者育成支大会 『絶対に諦めない』 杉山さん

これは私の一番好きな言葉です。みなさんの好きな言葉は何ですか。私がこの言葉を好きになったのは、1年前のことです。私は小学校4年生の時、クラブチームでバレーボールをやり始めました。辛く、苦しいときもあり、泣きながらやったこともありました。それでも、苦しいことの後には、喜びや楽しさがあり、仲間に支えられながら、諦めず小学校卒業までやり続けました。そのときは、「途中で諦めなくてよかった。」と思っていました。



中学生になり、私はどの部活に入ろうか迷っていました。私は昔から優柔不断で、自分の意見に自信がなく、失敗や間違えることを恐れ、親や友だちに相談してから決めることが多くありました。結局、クラブチームと一緒にバレーをやっていた仲間に誘われ、バレーボール部に入りました。その時私は、「せっかくだから、このままバレーをやってみようかな」と少し軽い気持ちでいました。ですが、部活の練習はクラブチームの練習よりさらにきついものでした。「もう嫌だ、これ以上やりたくない」と毎日思うようになりました。それに私は、バレーがあまり上手な方ではありませんでした。周りには上手は人たちがばかりで、ボールを変な方向へとばし、迷惑をかけてしまう自分が嫌になりました。ついに、私は自分の弱い心に負け、美術部へ転部してしまいました。美術部は基本的に個人作業で、入部してからはあまり辛い、苦しいと思うようなことがなくなりました。そのまま私は、辛く、苦しいことを避け、楽な道を選ぶようになりました。

ある日、学校のアンケートで、「あなたは、最後まで諦めず、何かをやり通すことができますか。」という質問がありました。私は、これを見たとき、急にとても悔しくなりました。途中で部活をやめてしまった自分に後悔しました。「どうしてあの時、諦めてしまったんだ、なぜ最後までやり遂げようとしなかったんだ。」と自分を責めました。今思えば、誰だって失敗するのに、上手な人と自分を比べ、やめたいと思いつつやっていたのです。

そんな時、私は父親に薦められて『NARUTO』という漫画に出会いました。読み始めてすぐにこの漫画が大好きになり、毎日読みました。その中で、私が気に入っている言葉があります。それは、主人公のナルトが成長していく中で、ピンチになった時、必ずいうセリフでした。

『まっすぐ自分の言葉は曲げねえ』

このセリフを読んだ時、すごい！カッコいい！と思いました。私もそんな言葉を堂々とと言える人になりたいと憧れました。同時に、でもこれは、自分の力を信じ、どんな困難にも負けず、最後までやり遂げようとする人が言える言葉だと思いました。それなら私は、これからどんなに辛く苦しいことがあっても絶対に諦めない、もう自分の弱い心になんか負けない、と心に決めました。

それ以来私は、「絶対に諦めない。」が自分の目標となり、今でも常に意識しています。例えば、私は持久走が苦手です。苦しくなると、途中で足が止まって、投げ出されたいくなります。そんな時、

『絶対に諦めてはいけない。止まったら絶対後悔する。自分の心に負けてたまるか！』

と心の中で何度も何度もつぶやきます。そのまま、私は最後まで走り、一回も立ち止まりませんでした。以前の私だったら、途中で自分の弱い心に負け、諦めていたと思います。目の前の困難を乗り越えようと必死に頑張る人には、必ず誰かが手を差し伸べてくれます。一人では乗り越えられないこともあります。ですが、その困難を乗り越えようもしない人には、誰も手を差し伸べてくれないのです。

これから、私たち3年生は受験を迎えます。正直言って、私は勉強が嫌いです。でも今、私には叶えたい夢があります。それは、一度諦めたバレーの代わりに始めた「絵を描く」ということです。今度こそ私はイラストレーターになるという夢に向かって諦めずに進んでいきます。夢を叶えるのに楽な道のりは絶対にありません。もし夢に向かう途中、いろんな困難が押し寄せて、逃げ出しそうになった時、「絶対に諦めない」、この言葉を思い出し、何度つまづいても、立ち上がり、前へ進んでいきます。たとえ報われなくても、その苦しみを乗り越えた先には、きっとたくさんの喜びや幸せが待っていると思います。そして、自分の力を信じ、自分の手で未来を掴み取ります。



「私は絶対に諦めない。」

この言葉を堂々と胸を張ってと言える人に、私はなります。